昭和42年5月12日第三種郵便物認可　第１７１１４号　（日刊）

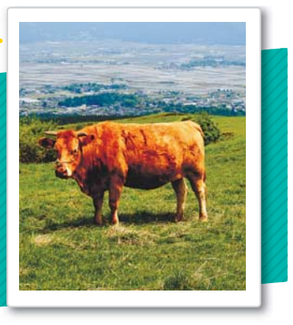
2020年（令和2年）
7月30日　木曜日

© 朝日学生新聞社
〒104-8433　東京都中央区築地 5-3-2　朝日新聞社新館 9 階
電話 03-3545-5223（広報）　03-3545-5222（編集）
購読申し込み 0120-415843　ウェブサイト www.asagaku.com

朝日小学生新聞

2面 オンラインで読書会
3面 読者家族の戦争体験
7面 レジ袋どうしてる？
8面 まんが パパモッコ

ピックアップ
熊本県をさんぽ
5面



ニュースあれこれ

社会

東北地方や新潟で記録的大雨
最上川がはんらん、家が水につかる

東北地方や新潟県で28日、記録的な大雨が降りました。各地で土砂くずれや、道路が水につかる被害が出ています。気象庁によると、山形県内では長井市など3か所の観測点で観測史上最大の24時間降水量を記録しました。日本三大急流の一つである最上川がはんらんし、住宅が水につかった地域もあります。

はんらんした最上川流域＝29日　©朝日新聞社

科学

星出さん、民間宇宙船でＩＳＳへ
来年春ごろ 打ち上げ予定

宇宙飛行士の星出彰彦さんが、来年春ごろ打ち上げ予定のアメリカの民間宇宙船に乗ることになりました。28日、宇宙航空研究開発機構（ＪＡＸＡ）が発表しました。

星出彰彦さん　©朝日新聞社

星出さんはスペースＸ社の宇宙船クルードラゴンで国際宇宙ステーション（ＩＳＳ）に向かい、半年ほど滞在。日本人としては2人目となるＩＳＳ船長をつとめる予定です。「新しい技術やコンセプトで開発された民間宇宙船に搭乗できることは楽しみでもあり、新しい時代の到来を肌で感じる」とコメントしています。

星出彰彦宇宙飛行士　2008年と12年に宇宙飛行の経験があります。ＩＳＳで日本の実験棟「きぼう」の船内実験室の取り付けや、長時間にわたる船外活動を行いました。

3面にもニュースあれこれ

イスラムの巡礼も縮小
茨城県の沖に海底油田？

日付は現地時間。記事の一部は朝日新聞社の提供です

子どもの歌に息づく 日本の原風景

イラスト・山本正子

身近な生き物や自然が創作に影響

子どもたちの歌の童謡や唱歌の歌詞には、日本の豊かな自然が反映されている――。農業・食品産業技術総合研究機構の研究チームが約1万3千曲の冒頭の一節を調べ、全体の4分の1以上に自然や生き物が登場することがわかりました。歌にえがかれ、今は失われつつある景色を取りもどそうという活動もあります。（中塚慧）

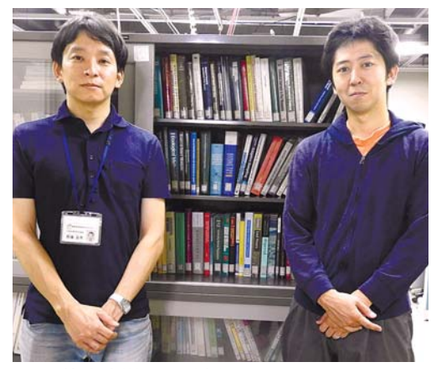
「さくら　さくら　やよいの空は」（「さくらさくら」）、「夕焼け小焼けの　赤とんぼ」（三木露風作詞「赤とんぼ」）、「兎追いしかの山」（高野辰之作詞「故郷」）。サクラ、赤トンボ、ウサギと生き物が出てくる童謡や唱歌は多く思いうかびます。

研究チームの片山直樹さんと馬場友希さんは、「生き物や自然が作家の創作活動にどれだけ影響をあたえてきたのだろう」と、データベースを使って調べることにしました。歌詞の冒頭を調べられる国立音楽大学附属図書館の「童謡・唱歌索引」を使い、1万2550曲を分析。義務教育が始まった1872年から、太平洋戦争が終わる1945年までの曲が中心です。その結果、全体の4分の1以上に、生態系や生き物に関わる言葉が出てきました。

全体の4分の1以上に登場

「おどろいたのは、数の多さに加え、豊富な種類の生き物が登場すること」と片山さん。植物は58科、鳥類は27科、昆虫は20科確認できました。

鳥ではスズメやヒバリなど、市街地や農地の鳥が多いです。「作家は身近な鳥からアイデアを得ていたのでしょう。ただ、カラスよりもヒバリが上位なのは意外でした」。農地でよく見られるヒバリは、今よりも身近な存在だったのではと考察します。イルカなど海の生き物が少なかったのは、「水族館があまり身近でない時代で、ピンと来なかったのかもしれませんね」。



片山直樹さん（右）と馬場友希さん
＝片山さん提供

歌で心を育み、景色を取りもどす

アキアカネのつがい
＝前田清悟さん提供

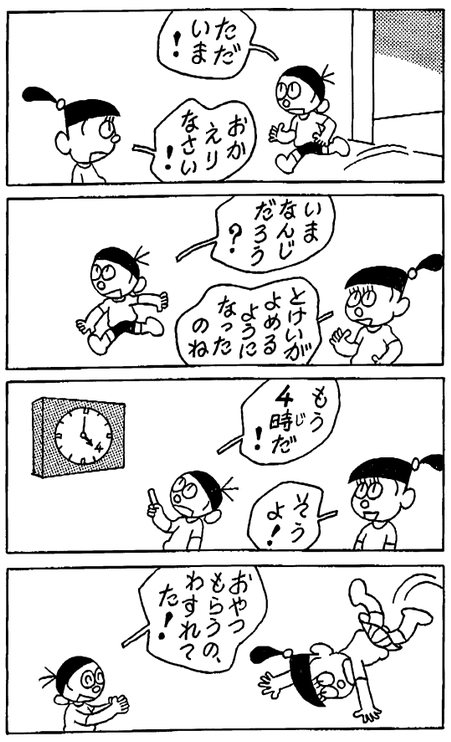
現在36歳の片山さんは東京で生まれ育ち、「自然はそこまで身近ではなかった」とふり返ります。でも、童謡「どんぐりころころ」や「めだかの学校」を歌い、ドジョウやメダカのいる風景を思いえがけたそうです。「歌から自然や生き物を大切にする気持ちも育める。歌いつぐことは大切だと感じます」

今では少なくなった生き物も多いです。「赤とんぼ」は、三木露風のふるさと、兵庫県たつの市の風景がもとになっているとされます。代表的な赤トンボのアキアカネは全国的に減り、たつの市でもめったに見られなくなりました。

市内に住む前田清悟さん（71歳）たちは、9年前から赤トンボの人工繁殖に取り組んでいます。毎年秋にめすのアキアカネから卵を採取し、春に田んぼなどで飼育容器に放流。初夏から夏の終わりにかけて羽化させます。去年は過去最多の486匹が羽化しました。

たつの市で育った前田さんは小学生のころ、農道で寝転がって見た赤トンボの飛び交う景色をなつかしみます。「歌でえがかれた景色を取りもどしたい」と話します。

ジャンボ・ポン



泉　昭二
16284

ミーヤが歩いたり、ねころんだりするところがおもしろいです。最後にずっこけるところが好きです。
（千葉県・3年）

天声こども語

イギリスの芸術家バンクシーがまた話題になっています。首都ロンドンで地下鉄の車内に、得意のネズミの落書きをしました▼ちょっと意地悪そうなネズミが大きなマスクをしたり、くしゃみをしたりしています▼イギリスでもコロナウイルスの感染がふえています。あらためて危険を伝え、マスク着用を求めたと受けとめられています▼公共の場の落書きはどこの国でも禁止です。今度の絵も、本人が写真で公表したときには、そうじの人が消していました▼みんなに考えてもらえればそれでいい。本人もそう考えたのでしょう。この作家は、ウイルスとたたかおうと呼びかける作品を何度もかき、そのたびに世界で報じられます。自分のもうけにはなりません▼日本も危険な状態です。夏休みになって、出かける場所が広がるかもしれません。手洗いの習慣とマスクを忘れないようにしましょう。

2020.7.30

ロボット プログラミング講座
無料体験授業 実施中！
楽しく学んで、思考力や問題解決力が身につきます
対象：小3～中学生　月額7,400円 80分×月2回 ※税別
個別指導 Axis　0120-500-222　アクシスロボット 検索

夏の1カ月購読キャンペーン（e-shop限定）開催中！
8月31日まで
キャンペーン期間中、今解き教室e-shopでは7月号と8月号を1冊単位で購読できます（通常はバックナンバーを除き年間・半年購読）
今解き教室 e-shop
朝日新聞で学ぶ総合教材
今解き教室 IMATOKI KYOSHITSU
思考力や記述力を伸ばす
電子書籍版も好評発売中！
最新8月号「歴史から今を考える」
毎号、医療や環境、政治などから一つのテーマを深掘りします。
L1 基礎　小学4年生～6年生
L2 発展　小学6年生～中学生
テキスト（A4・オールカラー）&解答・解説
●発行・編集　朝日新聞社
6カ月コース（9月号～2月号）も申込受付中！
■今解き教室6カ月コース
■L1基礎〈冊子教材〉7,800円（1カ月あたり1,300円）
■L2発展〈冊子教材〉9,600円（1カ月あたり1,600円）※価格はすべて税抜き。
電子ドリルつきや作文教室添削コースもあります。
※冊子教材はASA（朝日新聞販売店）、紀伊國屋書店（一部店舗を除く）でもご購入いただけます。
●お問い合わせ 03-3796-3815（月～金10:00～18:00 ※土日祝休）
未来の科学技術を考える
今解き教室 IMATOKI KYOSHITSU
JSEC Junior サイエンス Science　小学4年生～中学生向け
最新第3号「命を守る水と食糧」
電子書籍版もスタートしました！
好評発売中！
緊急ニュース特集 新型コロナ
●B5判／48ページ／オールカラー
●年間6冊 定価720円＋税／1冊
●発行・編集／朝日新聞社 ●販売／朝日新聞出版
●お申し込みは 今解き教室 e-shop
●ASA（朝日新聞販売所）や全国の書店でもご購入いただけます